

②松平氏再築ノ前橋城図

原図：慶応3（1867）年
増訂：大正8（1919）年

この絵図は、慶応3年作成の再築前橋城図及び再築城内屋敷割図（旧前橋藩主松平伯爵家所蔵原図）に基づき、大正8（1919）年に群馬県庁所蔵控図を増訂したものです。

本丸は、旧城の三ノ丸に置かれました。二ノ丸は、本丸の東から南を取囲み、三ノ丸は、本丸の北東部に位置しています。北曲輪は三ノ丸を三方から取囲み、本丸・二ノ丸・三ノ丸・北曲輪は渦状構造に縄張りされています。幕末の社会情勢を反映し、ヨーロッパ式の稜堡様式を各所に取入れ、突角部にはすべて砲台を構えていました。

群馬県特定歴史公文書 A0384A0G

